

# 教育センター

センター長 福島 統

教授：福島 統 医学教育学  
 教授：尾上 尚志 医学教育学  
 教授：中村真理子 医学教育学  
 講師：岡崎 史子 医学教育学

## 教育・研究概要

1999年4月に教学委員長を室長に医学教育研究室が学事部学務課内に設置され、2002年4月には初年次教育の拡充のために、国領校に医学教育研究室国領分室が設置された。2005年10月に教育センターが設置され、その中に医学教育研究室、看護教育研究室、卒後教育支援室、教育開発室が置かれ、2006年4月には教育センター事務室が設置され、教育センターとして本格的な活動が開始された。福島 統が2007年4月に教育センター長に就任し、2010年4月、2013年4月、2016年4月に再任された。教育センターは、2010年4月にC棟7階に移動し、シミュレーション教育施設およびe-Learning施設の管理運営も行っている。2015年8月1日に東京慈恵会医科大学教育センター規定が改定され、教育センター内に医師キャリアサポート部門（部門長：福島 統）、看護キャリアサポート部門（部門長：奈良京子）、シミュレーション教育部門（部門長：尾上尚志）、地域医療支援部門（部門長：松島雅人）、教育IR部門（部門長：中村真理子）、アドミッション部門（部門長：木村直史）が設置された。

1. 2012年度文部科学省「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成(B)グローバルな医学教育認証に対応した診療参加型臨床実習の充実」事業で「参加型臨床実習のための系統的教育の構築」(事業責任者：宇都宮一典教授)を行っている。尾上教授、岡崎講師と櫻井助教は、臨床実習カリキュラムの実施および診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験(PCC-OSCE)の準備に当たった。

2. 2012年度文部科学省「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成(C)医学・歯学教育認証制度等の実施」事業で「国際基準に対応した医学教育認証制度の確立」(申請大学：東京医科歯科大学)を連携校として活動している。

福島センター長と中村教授が第三者評価トライアルに参加している。2016年度は、福島センター長は、日本医科大学の第三者評価の主査、順天堂大学医学部で副査として、中村教授は順天堂大学医学部で外部評価者として参加した。また、中村教授は本学の教育IR部門の部門長として活動し、本学のIR活動を行った。

3. 2013年度文部科学省研究拠点形成費等補助金「先進的医療イノベーション人材養成」事業で「卒前から生涯学習に亘る総合診療能力開発」(事業推進責任者 大野岩男教授)が採択された。本取組の一つとして、2015年度に3年次「高齢者医療体験実習」が新設された。本実習新設にあたって、厚生労働省医政局医事課長と老健局老人保険課介護データ分析室長からの支援を受けた。国が求める医学教育へのニーズをカリキュラムに生かす方策として、行政との協働というカリキュラム開発の方法論を確立した。

4. 看護キャリアサポートセンターは、奈良京子部門長を担当として、1)エデュケーションナース研修、2)看護監督者研修、3)看護管理者研修などの看護学教育プログラムを実施した。

5. 医学教育振興財団主催「医学教育指導者フォーラム」と文部科学省主催「医学・歯学教育指導者ワークショップ」を支援した。フォーラムでは、卒後臨床研修を主題とし、英国での卒後臨床研修(Foundation Programme)の実際と、卒前教育と卒後研修との接続性についての講演を組んだ。英国での基礎研究者養成の取り組みとしての卒後臨床研修プログラム、Academic Foundation Programmeについても紹介した。文部科学省主催のワークショップでは、1)医師・歯科医師として求められる基本的資質、2)地域包括ケアシステム、3)モデル・コア・カリキュラムをもとにした具体的な教育の方法、4)卒後の多様な医療ニーズ・多様なキャリアパスを見据えた教育の在り方、5)教養教育や準備教育の在り方、6)今日の社会状況を踏まえてモデル・コア・カリキュラムに新たに盛り込むべき事項、7)臨床実習の実習に関する諸課題をテーマに取り上げた。福島センター長は、フォーラムとワークショップの

企画に参加した。

6. 2016年度文部科学省「大学における医療人の在り方に関する調査研究委託事業」に福島センター長が調査研究協力者として参加した。

7. 福島センター長は、文部科学省関係では、モデル・コア・カリキュラム改訂に関する専門委員会委員、2016年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業委員、厚生労働省関係では、医道審議会専門委員（保健師助産師看護師分科会員）、医師国家試験事業外11試験事業一式に係る総合評価委員会委員、東京都関係では、東京都地域医療対策協議会委員、東京都地域医療支援センター運営委員会委員を務めた。

8. 2016年度文部科学省委託事業「『職業実践専門課程』の各認定要件等に関する先進的取組の推進」において、「柔道整復師養成志願での職業教育分野別第三者評価モデル事業」を福島センター長が担当した。医学教育の質保証の活動を、専門学校の質保証に活かす活動である。

9. 学外での医学教育関係講演：1) 岐阜大学 MEDC, 2) (公社) 全国柔道整復学校協会, 3) 防衛医科大学校, 4) 愛知医科大学, 5) 奈良県立医科大学, 6) 北里大学医学部, 7) 兵庫医科大学, 8) NPO 私立専門学校等評価研究機構, 9) 東京都医師会, 10) 大阪市立大学医学部, 11) IMS 医療安全管理者講習会, 12) 厚生労働大臣指定理学療法士・作業療法士・言語療法士養成施設等教員講習会, 13) 厚生労働大臣指定柔道整復師養成施設等専科教員講習会（以上、福島センター長）、14) 岐阜大学 MEDC, 15) 奈良県立医科大学, 16) 獨協医科大学, 17) 新潟大学医学部, 18) 兵庫医科大学（以上、中村教授）。

#### 「点検・評価」

教育センターでは、1. 卒前医学教育支援, 2. 卒業生涯学習支援, 3. 看護キャリアサポート業務, 4. シミュレーション教育施設運営管理, 5. e-Learning の設備管理と運営, 6. 教育 IR 活動, そして7. 高大接続に関する入学試験改革を中心に活動を行っている。研究もこの活動に沿った内容で行っている。高等教育の政策の変化に対応する医学教育に対応するため、教育センターの役割が拡大しつつある。教育 IR 部門は特に、今後、教育の質保証の観点からその活動を強化していかなければならない。学修成果のデータ収集や、アルムナイ調査など本学の社会的責任の指標となるデータ収集が求められている。

教育センターの活動は学内のものと学外のものに区分される。学内の活動は教学委員会及びその下部組織の委員会の支援活動で、教学委員会の依頼のもので行われている。今年度は臨床実習改善部 PCC-OSCE の準備が主なものであった。一方、学外の活動は広がってきており、文部科学省、厚生労働省、東京都の行政からのものと、全国医学部長病院長会議、医学教育振興財団、日本医学教育評価機構、日本医学教育学会などの学協会のものがある。学外活動は本学が今までで行ってきているカリキュラム改革の実績を評価されたものと理解している。今後も、学内だけでなく、学外の活動にも力を注いで行く必要がある。

## 研究業績

### I. 原著論文

- 1) 福島 統. 【医師養成プロセスの新しい流れ】戦後の医学教育史. 日医師会誌 2017; 145(10): 2079-83.

### III. 学会発表

- 1) 福島 統. (パネルディスカッション) 患者安全を目指す医学教育. 第 65 回全日本鍼灸学会学術大会北海道大会. 札幌, 6月.
- 2) 福島 統. (35周年記念講演) 医療者教育で求められている Medical Humanities: 行動科学を中心に. 第 35 回日本歯科医学教育学会および学術集会. 大阪, 7月.
- 3) 福島 統. (シンポジウム 14: 医学教育のグローバルスタンダードにおける大学の独自性) WFME の医学教育評価基準は、大学の独自性を求めている. 第 48 回日本医学教育学会大会. 高槻, 7月. [医教育 2016; 47(Suppl.): 50]
- 4) 福島 統. (共同企画 4). 第 36 回医療情報学連合大会・第 17 回日本医療情報学会学術大会. 横浜, 11月.
- 5) Fukuda K, Nakamura M, Ashida R. Undergraduate medical imaging education: results of worldwide survey. 第 48 回日本医学教育学会. 高槻, 7月. [医教育 2016; 47(Suppl.): 92]
- 6) Fukuda K, Ashida R, Nakamura M, Ledsam J. Current condition and future perspective of diagnostic imaging education in undergraduate education: results of questionnaire survey to world-wide. AMEE (Association for Medical Education in Europe) 2016. Barcelona, Aug.
- 7) 恒川幸司 (MEDC), 荒井貞夫 (東京医科大学), 中村真理子, 岡田聡志 (千葉大). (ワークショップ 3) 医学教育における教学 IR の理論と実践～分野別認証評価とその先を見据えて. 第 60 回医学教育セミナー

- とワークショップ. 東京, 5月. [新しい医教の流れ 2016; 16(2): 93-6]
- 8) 泉 美貴 (東京医科大), 奈良信雄 (順天堂大), 中村真理子. (ワークショップ6) 医学教育分野別認証評価における自己評価の書き方を学ぶ. 第60回医学教育セミナーとワークショップ. 東京, 5月. [新しい医教の流れ 2016; 16(2): 115-7]
- 9) 中村真理子 医学教育におけるIRとは～分野別認証評価への対応と能動的学習の活性化に向けて～. 獨協医科大学第21回医学教育ワークショップ. 日光, 8月.
- 10) 恒川幸司 (MEDC), 荒井貞夫 (東京医科大), 中村真理子, 岡田聡志 (千葉大). (パネルディスカッション1) 医学教育IRの挑戦～ブレイクスルーを求めて. 第62回医学教育セミナーとワークショップ in 兵庫医大. 10月, 西宮. [新しい医教育の流れ 2016; 16(4): 229-32]
- 11) 岡崎史子, 小松一祐, 関 正康, 櫻井結華, 石橋由朗, 川村哲也. 臨床実習におけるe-ポートフォリオ導入の試み. 第48回日本医学教育学会. 高槻, 7月. [医教育 2016; 47(Suppl.): 113]

## V. その他

- 1) 福島 統. 【医師養成プロセスの新しい流れ】巻頭言 医学教育の目的は患者安全にある. 日医師会誌 2017; 145(10): 2066.
- 2) 福島 統, 倉本 秋, 井廻道夫, 羽鳥 裕. 【医師養成プロセスの新しい流れ】医師養成プロセスにおける変化. 日医師会誌 2017; 145(10): 2067-77.
- 3) 福島 統. 訪問看護ステーションへのメッセージ 第1回: 無理やりさせられ体験実習を作る. 訪問看護ステーションニュース 2017; 134: 11.
- 4) 福島 統. 訪問看護ステーションへのメッセージ 第2回: 1993年の思い出: 福祉体験実習を作る. 訪問看護ステーションニュース 2017; 135: 13.
- 5) 福島 統. 平成28年度文部科学省受託事業 「職業実践専門課程」の各認定要件等に関する先進的取組の推進 柔道整復師養成施設での職業教育分野別第三者評価モデル事業 事業成果報告書. 2017.